

**新型コロナウイルス対応緊急支援助成  
事業計画（実行団体）**

事業名(主)	生活困窮になった方への緊急食糧支援活動
事業名(副)	
※任意	

入力数 主 19 字 副 0 字

実行団体名	特定非営利活動法人フードバンク福山
資金分配団体名	特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

**優先的に解決すべき社会の諸課題**

領域	分野
<input checked="" type="checkbox"/> 1) 子ども及び若者の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/> ①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援
	<input checked="" type="checkbox"/> ②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
	<input type="checkbox"/> ③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援
<input checked="" type="checkbox"/> 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	<input checked="" type="checkbox"/> ④働くことが困難な人への支援
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援
<input type="checkbox"/> 3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	<input type="checkbox"/> ⑥地域の働く場づくりの支援
	<input type="checkbox"/> ⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

上記以外 その他の解決すべき社会の課題	<input type="checkbox"/>
------------------------	--------------------------

入力数 0 字

**SDGsとの関連**

ゴール
<u>1. 貧困をなくそう</u>
<u>2. 飢餓をゼロに</u>
<u>12. つくる責任つかう責任</u>

実施時期	2021年 7月 ～ 2021年 12月
事業 対象地域	全国 <input type="checkbox"/> 特定地域 <input checked="" type="checkbox"/> 福山市 府中市 神石高原町 尾道市 三原市 笠岡市
事業対象者： (事業で直接介入する対象者と、その他最終受益者を含む)	一人暮らし障がい者・高齢者・若者、老夫婦二人暮らし、DV被害者母子、生活困窮相談に行かれた方、外国人技能実習生、矯正施設出所者、三食食べることができていない子ども、居場所を必要としている子ども、路上生活者、福祉施設入所者、他約46の支援団体
事業 対象者人数	1005人

**I. 団体の社会的役割**

(1)申請団体の目的
まだ食べられるのに廃棄されてしまう食品を集め、届け、食べてもらう事で食品を助ける事が目的です。食品生産者、卸業者、小売業者、個人、行政組織等から余剰食品を無償で受け取り、食品を必要とする福祉施設、非営利活動団体、生活困窮者支援団体等に無償で提供することにより、人と食との縁を結び、社会福祉の推進、心豊かなまちづくりに寄与しています。
(2)申請団体の概要・事業内容等
通常活動は月曜から日曜まで終日。 ①食べ物の無償受取に関する業務 ②食材の保管や管理に関する業務 ③食材の提供に関する業務 ④広報に関する業務 ⑤各種会議と内部外部での打ち合わせ業務 ⑥車両管理・整備・点検・運転業務 ⑦事務業務、会計入力・計算・支払・年度報告書類作成業務

入力数 (1) 166 字 (2) 136 字

**II. 事業の背景・社会課題**

新型コロナウイルス感染症により深刻化した社会課題
一人暮らしの精神障がいのある方は体調崩す方が増え、中には入院したまま退院の目途が立たなくなり入院長期化している方がいます。一人暮らし高齢者で閉じこもるしか防ぐ方法がない方で精神不安定になりましたが要介護3がついても入れる施設が無く断られ、独居で不安な生活を強いられています。児童養護施設を18才で退所した若者が就職難により生活費を稼ぐことができず若者支援センターを頼って緊急保護されています。家で過ごす時間が増え、DV被害を受け避難してきた母子を緊急保護している団体には対象者が増え、着の身着のまま逃げてきている為食べ物には当然必要で、着る物文房具一切に困っています。生活費がかさむようになり、二人暮らし老夫婦は年金が2ヶ月もたず支給前の1週間だけ食べ物をもらいたい、と言ってこられる世帯が約5世帯増えました。路上生活を余儀なくされている方が増えました。昨年から約3~4人。外国人実習生を支援している団体はバイトが無くなり生活費が細くなった外国人が増えた為に食べ物を集めて配り始め、フードバンク福山も多くの食品を提供しました。子ども食堂はコロナ渦により一旦休止を余儀なくされ、困窮世帯子どもの食事問題は深刻化しました。その後形を変えて、集まらず、お弁当を配る事や持ち帰る等の方法を取り再開する団体が増えました。今年1月、福山市社会福祉協議会は生活困窮相談者が月に18人ほどに増えました。福山市困窮者自立支援センターへの相談者も増え、当面の食べ物に困る方から食品提供の依頼が毎日のようにあるようになりました。組織の課題として運搬用トラックの老朽化とフードバンク活動啓発不足、広報不足があります。

入力数 790 字

III.事業内容

<p><b>(1)事業の概要</b></p> <p>目的は、生活困窮者への食品無償提供による緊急生活支援です。トラックを購入することで、より多くの量(前年同月より一月500kg増)を入、団体(前年より12月までに30人増、8団体増)に継続して支援物資を届けます。          広報力の強化にも努め、寄付者及び地域社会への情報発信(信頼度向上と透明性向上を目的)を実施します。</p>
--

入力数 154 字

<p><b>(2)事業実施後（1年後）以降に目標とする状態</b></p> <p>①フードバンク活動の拡大          ・前年同月より一月500kg増。今年12月までに要支援者30人増、支援団体8団体増になっている。</p> <p>②フードバンク認知の拡大          ・HP作成・SNS活用・チラシ刷新し配布・市役所や社協への広報協力依頼・学校SDGs学習・JA農生産者の研修・慈善団体の集まり等での報告などを通じて広く市民がフードバンクのことを知っている。</p>
--

入力数 171 字

(3)今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態	目標達成時期
<p>①フードバンク活動の拡大            -1・トラックを購入している            -2・常日ごろのフードバンク活動を継続している</p> <p>②フードバンク認知の拡大            -1・チラシが作成され印刷されている            -2・HPが作成され公開されている</p>	<p>①            -1・トラックの有無            -2・活動を実施した日数、及び関わったスタッフ・ボランティア等の人数</p> <p>②            -1・チラシの納品            -2・HPの納品</p>	<p>①            -1・目視による確認            -2・記録簿の確認</p> <p>②            -1・目視            -2・目視</p>	<p>①            -1・トラックが納品されている            -2・25日/月の活動日数、および活動したのべ人数(直接125人/月、間接65人/月)</p> <p>②            -1・チラシ1,000枚納品            -2・公開されている状態</p>	<p>①            -1・2021年9月初旬納車            -2・2021年12月</p> <p>②            -1・2021年8月            -2・2021年8月</p>

(4)活動	時期
①フードバンク活動の拡大 -1・トラックの購入	2021年7月
①フードバンク活動の拡大 -2・日常的な活動の実施	事業期間中継続的に実施
②フードバンク認知の拡大 -1・チラシの作成	2021年7月～8月
②フードバンク認知の拡大 -2・HPの作成	2021年7月～8月

IV.事業実施体制

<p><b>(1)メンバー構成と各メンバーの役割</b></p> <p>内部人材は、役員名簿にあるメンバー7人です。ほぼ毎日2～4人が動いています。          外部人材(協働パートナー)は、28団体が月に1～20日ほど受け渡しに動いています。          ①食べ物の無償受取に関する業務。内部人材7人と外部人材28団体と5～8人の個人パートナーで実施          ②食材の保管や管理に関する業務。内部人材7人で実施          ③食材の提供に関する業務。内部人材7人と外部人材28団体と5～8人の個人パートナーと約49の支援先団体で実施          ④広報に関する業務。内部人材7人で実施          ⑤各種会議と内部外部での打ち合わせ業務。内部人材7人で実施          ⑥車両管理、整備点検、運転業務。理事4人とボランティアスタッフ          ⑦事務業務、会計入力、計算、支払、年度報告書類作成業務。内部人材2人で実施</p>
<p><b>(2)他団体との連携体制</b></p> <p>役所(福山市・福祉事務所生活福祉課・困窮者自立支援センター・障がい福祉課・高齢者支援課・教育委員会・ネウボロ推進課・農業振興課・環境啓発課・廃棄物対策課・青少年女性活躍推進課)、三原市給食センター、府中市生活福祉課:フードバンクの告知・広報、部署からの食品寄付受け取り、部署と共働で配布活動、関係者による会議への参加          社協(福山市社協・尾道市社協・府中市社協):困難な方への情報提供、食品の配布協力          学校(旭小学校・神辺中学校他):子どもたちへのフードバンク教育、SDGs学習          JA福山(ふくふく市・女性の会):農産品の受取、農家さんへのフードバンク理解の向上          福山ライオンズクラブ・福山ロータリクラブ・福山ソロビジネーター等:寄付等の活動支援</p>
<p><b>(3)想定されるリスクと管理体制</b></p> <p>新しく連携していく団体、個人と受け渡しをスムーズに行う為、現場での引き継ぎを行う。日々の受け取り報告と受け取り時の企業側との調整仲介連絡を継続して行う。苦情や問題発生した時は即駆け付け、原因を探し対策を講じる。</p>

V.関連する主な実績

<b>(1)休眠預金以外の助成・補助金活用の有無</b>				
<b>新型コロナウイルス感染症に係る事業</b>				
①本申請事業について、新型コロナウイルス感染症に係る助成金や寄付等を受け活動を実施している(予定も含む)	有 <input type="checkbox"/>	無 <input checked="" type="checkbox"/>	有の場合その詳細	
②本申請事業について、国又は地方公共団体から補助金又は貸付金(ふるさと納税を財源とする資金提供を含む)を受けていない	無 <input checked="" type="checkbox"/>	※有の場合、選定の対象外となります(公募要領:助成方針参照)		
<b>(2)申請事業に関連する調査研究、連携の実績</b>				
ありません。				